

東海地区医学図書館協議会平成25年度実務担当者研修会参加報告

| | |
|-------|---|
| メタデータ | 言語: jpn 出版者: 静岡県医療機関図書室連絡会事務局 公開日: 2016-12-08 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 夏目, 雅代 メールアドレス: 所属: |
| URL | http://hdl.handle.net/10271/3064 |

東海地区医学図書館協議会平成 25 年度実務担当者研修会参加報告

浜松医科大学附属図書館 夏目 雅代

日時 : 平成 26 年 2 月 7 日 (金) 10:00 ~ 16:00

会場 : 岐阜大学サテライトキャンパス 多目的講義室

- 内容 : 1. 「最先端の救急医療」
講師 小倉真治氏 (岐阜大学大学院医学系研究科教授)
2. 「図書館員として知っておきたい看護学の基礎」
講師 樫野香苗氏 (名古屋市立大学看護学部講師)
3. 「やりたいプレゼンからすべきプレゼンへ」
講師 加藤正吾氏 (岐阜大学応用生物科学部准教授)

1. 最先端の救急医療

救急・災害医療では、短時間でいつでもどこでも正確な患者情報を知ることが最も重要で、それが救急救命の効率化になる。特にこれからは、高齢化医療対策として、病院だけでなく、地域連携に繋ぐためにも診療情報の迅速な収集と共有化を図ることが大事であり、そのためのバックアップ体制などの対策を進めなければならないなどの講義がありました。

岐阜県では、血液型、投薬情報などが入った医療用 IC カードを住民に配布し、地理的に不便な地域でもドクターヘリ等を活用し、救急医療が迅速かつ正確に行えるよう「GEMITS」というシステムを構築していると事例紹介がありました。人口の少ない山間部の医療対策としても有用であるとお聞きし、これらの先進的な救急システムは、災害医療のうえでも静岡県も参考にすべきではないかと思いました。

2. 図書館員として知っておきたい看護学の基礎

学生が習得すべき看護学の定義、看護過程、看護診断のプロセス、ケアプラン等の基礎学を図書館職員向けに丁寧に解説していただきました。

看護というと患者さんへの技術的なケアのみ目が行きやすいのですが、看護学としての理論を基礎から教えていただき、日ごろ手にする看護図書の内容を本質的な意味で、より深く理解するよい機会となりました。

3. やりたいプレゼンからすべきプレゼンへ

各機関で作成した利用者案内やガイダンスで使用しているプレゼンテーションの資料を参照し、どのように効果的なプレゼンにするか、改善点や工夫すべきポイントをわかりやすく講義していただきました。自分が何を一番訴えたいのかを明確にする。一つのスライドに多くの情報を詰め込まず、負荷をかけない。あらかじめ全体の構成や階層を作っておく。色彩等では、障害者にも配慮する必要がある。また単なる「事実」の情報ではなく、利用者が知らなかった「意味」や「価値」を盛り込むことが大切など、大変具体的な内容で参考になりました。